



ひとりだち

可児市立西可児中学校



R7 校報第6号
令和7年9月1日



やってみて手に入れたもの

2年主任 田部井由博

夏休みも終わり、学校での日常が戻ってきました。みなさんはどのような夏休みを過ごしたでしょうか。

突然ですが、昨年の夏休み前に老朽化した家のウッドデッキを壊しました。その廃材を処分するかどうか悩んだ末、“子どもが喜ぶもの”を作ってみようと考えました。どうせなら夏休みを利用して、自分も“一作品”に挑戦しようと、息子が習い始めたバスケットボールのゴール作りに挑戦しました。右の写真が廃材と完成品です。ちなみに総重量は大人4人で何とか持ち上がるほど…。計画性のなさを痛感。

一方で、右下の写真は、友人の新居の建設写真です。何十年も立ち続ける家の骨組みを1日で仕上げてしまう「プロの仕事」に感動しました。やはりプロはすごいですね！DIYにそれほど興味のなかった私がかんうはずはないですが、この挑戦を通して私が得たものを考えてみました。

【私が手に入れたもの】

- ・子どもの笑顔
- ・一緒にバスケの練習をした時間
- ・DIY道具の知識
- ・DIYの難しさを実感
- ・できた時の達成感
- ・多少のダイエット（すごい汗かきました）
- ・プロのレベルの高さ（やはりプロの質はすごい！という認識）

手に入れたもので何よりも価値があると思ったのは、未経験に挑戦できた自分です。もし、何もせずに廃材を処分すれば、汗をかかずに庭スッキリ！の環境が簡単に手に入れたと思います。しかし、自分で“経験”したからこそたくさんのものを手に入れることができました。この通信をつくることができたのもそのおかげです。“まず、やってみる”の先には、たくさんの素敵な出来事があります。失敗しても、つまらなかったとしても、それを知ることができたのは、あなたの財産です。この夏、あなたはどんなことを“やって”みましたか。たとえ、どんな結果だったとしても、“やらなかったあなた”より、きっと多くのことを手に入れています！

ウッドデッキの廃材



自作のゴール



プロの建築作業

